

はやぶさ・はやぶさ2と宇宙創成の神秘

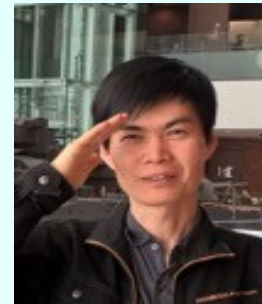
ゲストスピーカー：廣井孝弘（ブラウン大学 地球環境惑星科学科/上級研究員）

- 小探査機はやぶさは、2010年にS型小惑星イトカワの試料を持ち帰った。その波乱万丈の7年間の航海は有名となったが、その科学成果は意外とよく知られていない。1970年前後の米ソの月着陸と試料回収によって、宇宙風化が発見された。それ以降、宇宙風化がS型小惑星にも存在するか否かという議論が40年間続いていたが、はやぶさが持ち帰ったイトカワ試料によって遂に解決された。そして2020年、はやぶさ2は生命の材料物質となる水や有機物を含むと思われるC型小惑星リュウグウから試料をまた世界で初めて持ち帰った。
- 最後に、天文学や惑星科学が解明してきた宇宙創成の神秘、未来の科学による世界平和についても説明する。

【日時等】

6/26 (土) 9:00-11:00

by Zoom



ToTAL/OPENプログラムで、本学の学生なら誰でも参加申し込みができますが、定員になり次第締め切ります。

詳しくはWebで

TOTAL 東工大



<http://www.total.titech.ac.jp/>

【申込み・問合せ先】

ToTAL 特任教授 山田圭介/Prof. K. Yamada

Email : total.tokunin@total.titech.ac.jp

TEL : Ext. 3755